



## 英語が苦手な人向けの英語学習

近年、英語の需要は文理問わず年々高まっているように思います。そして皆さんの中には小学校やそれより早くから英語学習を始めた方も多くいると思います。また、入試や留学、就職で英語の語学試験が必要な場合もあるなど、様々な場面で英語が必要になる方もいるかと思います。

私は理系の大学院生ですが、大学院入試で英語の外部試験の結果提出が必須であったり、交換留学に英語の外部試験(TOEFLやIELTSなど)の高いスコアが必要であったりと、英語が苦手である私にとって大変なことが多くありました。

そこで本コラムでは、英語が得意である人はもちろん、英語が苦手であるにもかかわらず外部試験が必要な人などに向けて、私の英語の学習方法について紹介したいと思います。

### 【リーディング】

- 自分の興味のある分野の英論文を段落ごとに読んで理解したことを白紙に書き起こし、DeepLなどの翻訳サイトを用いて翻訳し、自分の理解が正しいか確認していました。
- 図書館にて多読用の本を借りることができるため、これらもたまに利用していました。

### 【リスニング】

- TED talkをYouTubeなどで字幕なしで何度も視聴し、聞こえた英語を書き起こしました。そして字幕を付け、答え合わせを行いました。聞き取れなかったり間違っていた英語は聞きなおし、声に出してみることで聞き取れるようになりました。

### 【スピーキング】

- TED talkを何度も聞き、間の取り方や発音をコピーしました。
- 自分の受検する語学試験のスピーキング対策についてインターネットで調べてみると、スピーキングのテンプレートが出てくることがあります。実践的な英語は身につかないかもしれませんが、急ぎで語学試験のスコアが必要な場合はテンプレートを丸暗記していくと、スピーキングで高得点が取れるかもしれません。

### 【ライティング】

- まずは問題集のライティングの問題を見て、自分の力で書いてみました。私は英語がとても苦手であったため、書きたいことをどうしても英語に直して書けないということが多くありました。そのときは無理せずに一旦日本語で書いておき、答え合わせの際に模範解答に自分の言いたいことがあれば紙に書き出して壁に貼って覚え、なければ翻訳アプリなどで調べて覚えました。また、添削についてはChatGPTなどのAIに解説つきで添削を願いすると、分かりやすく添削されて返ってくるため、たまにAIも使ってライティングの勉強を行っていました。

(理工学研究科 MI)